

評価結果概要表

作成日 平成 21 年 3 月 30 日

【評価実施概要】

事業所番号	秋田県知事指定第 0590200085号
法人名	カシキガイシャ 芳栄 株式会社
事業所名	グループホーム和み
所在地	能代市二ツ井町飛根字高清水265 (電話) 0185-75-2006
評価機関名	社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会
所在地	秋田市旭北栄町1-5
訪問調査日	平成21年3月11日

【情報提供票より】 (平成21年2月20日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 20 年 3 月 30 日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	19 人 (常勤 10 人 非常勤 9 人 常勤換算 10.9 人)

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り
	1 階建ての ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	<input type="checkbox"/> 有(円) <input checked="" type="checkbox"/> 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input type="checkbox"/> 有(円) <input checked="" type="checkbox"/> 無	有りの場合 償却の有無	<input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000 円	

(4) 利用者の概要

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護1	7 名	要介護2	4 名
要介護3	3 名	要介護4	1 名
要介護5	0 名	要支援2	3 名
年齢	平均 81.5 歳	最低 60 歳	最高 97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	金田医院
---------	------

【外部評価で確認された事業所の特徴】

法人代表は社会福祉法人の理事長を勤めているため福祉への理解が深く、地域の高齢化率の進行や福祉施設の不足から事業所を開設している。
 「和やかな顔」「和やかな言葉」「和やかな振る舞い」を理念に掲げ、利用者及び職員が同じ気持ちで過ごせるよう、職員全員が前向きにケアにあたっている姿が印象的である。
 また、利用者への傾聴する姿勢や日常の状態観察や会話などの丁寧な支援から、管理者及び職員の熱意が伝わるものの、一生懸命ケアすることで返って利用者の自立心を低下させていることも否めない。
 そのため、今後は利用者のできることを見極めながら余裕を持って利用者に関わり、利用者の役割や楽しみを見出し、自立を促すために取り組むことが望まれる。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4) 職員間で話し合いながら自己評価を行い、評価を通じて運営及びサービス状況と課題等の把握に努め、今後の活動や取組みに生かしたいと前向きである。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4, 5, 6) 開設1年目のため開催頻度は多くはないが、会議では活発な意見交換がなされ、誕生会などでの選択食の実施やボランティアの活用が提案され、具体的な取組みにつなげている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族の面会が多く、毎月の利用料が現金払いのため定期的に訪問しており、会話の中から意向を確認している。 また、相談窓口のほか玄関に意見箱を設置し、さらに第三者機関も設置して家族の意向や要望の把握に努めている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 事業所前の小学校が統合され小学生との交流ができなくなったが、事業所前で地域の祭りを開催したり、郷土芸能を披露するなど活動の拠点になりつつある。 また、地域の方から農作物の差し入れがあるほか、事業所でバーベキューなどを開催して近隣住民の参加を呼びかけるなど、徐々に交流が深まっている。

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:しらかみ 下段:よねしろ）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
I. 理念に基づく運営								
1. 理念と共有								
1	1	○地域密着型サービスとしての理念	和やかな心を軸に活動し、和やかな顔・和やかな言葉・和やかな振舞い理念としている。			人は和やかな心があるからこそ、穏やかに過ごせるという考えに基づき「和やかな顔」「和やかな言葉」「和やかな振る舞い」を理念に掲げ、利用者及び職員が同じ気持ちで過ごせるよう思いを込めて実践に取り組んでいる。	○	開設から1年が経過し、地域の理解も深まってきたため、地域との関わりを理念や方針として掲げ、地域密着型サービスとしての役割・機能を明確に示すことが望まれる。
		地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	和やかな心を軸に活動し、和やかな顔・和やかな言葉・和やかな振舞い理念としている。					
2	2	○理念の共有と日々の取り組み	玄関、事務室、ホールに理念を貼り出し、日々目の付くようにして理念を常に意識し行動するよう取り組んでいる。			事業所内に手書きの理念を掲げ、管理者が率先して笑顔を絶やさず穏やかな態度で利用者及び職員と接している。 また、毎月の職員会議時には法人代表者が理念を再確認するなど、常に意識できるよう取り組んでいる。		
		運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関、事務室、ホールに理念を貼り出し、日々目の付くようにして理念を常に意識し行動するよう取り組んでいる。					
3	3	○家族や地域への理念の浸透	運営推進会議開催や地元行事の参加などで、家族や地域の人々に理解してもらうよう取り組んでいる。					
		事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	運営推進会議開催や地元行事の参加などで、家族や地域の人々に理解してもらうよう取り組んでいる。					
2. 地域との支えあい								
4	4	○隣近所とのつきあい	天気の良い日などは散歩をよくしているが、その様な時は地域の人々と笑顔で挨拶を交わすように努めている。また、地域の方々からは季節ごとに花や野菜の苗や季節の野菜をいただいたりし交流をいただいている。					
		管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	天気の良い日などは散歩をよくしているが、その様な時は地域の人々と笑顔で挨拶を交わすように努めている。また、地域の方々からは季節ごとに花や野菜の苗や季節の野菜をいただいたりし交流をいただいている。					
3	5	○地域とのつきあい	地域の祭典時に当施設駐車場にて屋台等やり家族の方々も招待し皆で食事をしたり、また郷土芸能にも来ていただき地域との交流に努めている。			事業所前の小学校が統合されたことにより小学生との交流ができなくなったが、事業所前で地域の祭りを開催したり、郷土芸能を披露するなど活動の拠点になりつつある。 また、地域の方から農作物の差し入れがあるほか、事業所でバーベキューやたんぼ会などを催して近隣住民の参加を呼びかけるなど、徐々に交流が深まっている。	○	開設1年目ということで試行錯誤しながら取り組んでおり、今後は事業所を拠点とした福祉相談窓口や緊急災害時の受け入れなど新たな活動を検討しているため、継続した取り組みを期待したい。
		事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の祭典時に当施設駐車場にて屋台等やり家族の方々も招待し皆で食事をしたり、また郷土芸能にも来ていただき地域との交流に努めている。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:しらかみ 下段:よねしろ)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	6	○事業所の力を活かした地域貢献	介護用品販売を通じて地域の方々に施設の状況を周知してもらうようにし、高齢者の暮らしに役立ってもらえるように取り組んでいる。	○	今後は近隣地域の各家に施設内の広報をつくり配布しもっと地域に密着した施設にしていきたい。高齢者認知症介護の地域の窓口になれるように動いていきたい。(認知症キャラバンメイトの活動)			
		利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	介護用品販売を通じて地域の方々に施設の状況を周知してもらうようにし、高齢者の暮らしに役立ってもらえるように取り組んでいる。	○	今後は近隣地域の各家に施設内の広報をつくり配布しもっと地域に密着した施設にしていきたい。高齢者認知症介護の地域の窓口になれるように動いていきたい。(認知症キャラバンメイトの活動)			
3. 理念を実践するための制度の理解と活用								
4	7	○評価の意義の理解と活用	自己評価・外部評価を実施する意味を運営者、管理者、職員は良く理解しており、自己評価の段階では意見を皆で出し合いながら改善に取り組んでいる。					評価の意義や目的を理解し、管理者を含め職員間で話し合い、活発な意見交換を行いながら自己評価をまとめている。 また、評価を通じて現状と課題等について把握し、今後の取り組みにしたいと前向きな姿勢が感じられる。
		運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価・外部評価を実施する意味を運営者、管理者、職員は良く理解しており、自己評価の段階では意見を皆で出し合いながら改善に取り組んでいる。					
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では開所から今までの活動報告、施設概要、参加者の質疑応答を行い、意見をたくさん出していただきサービス向上に活かしている。		会議で意見をいただいた内容で誕生会の時に該当入居者に食事等のリクエストを聞いて答えるようにしてはどうかと意見をいただいたので即そのように実行している。			開設1年目で開催回数は多くはないが、委員からは活発な意見が出され、誕生会などでの選択食の実施やボランティアの積極的な活用など、提案を受けて具体的な取り組みにつなげている。
		運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では開所から今までの活動報告、施設概要、参加者の質疑応答を行い、意見をたくさん出していただきサービス向上に活かしている。		会議で意見をいただいた内容で誕生会の時に該当入居者に食事等のリクエストを聞いて答えるようにしてはどうかと意見をいただいたので即そのように実行している。			
6	9	○市町村との連携	運営推進会議には市の福祉課職員に参加していただけていますが、施設での相談事項がある時は担当課を訪ねたり連絡し合いサービスの質の向上に努めている。					毎月の地域包括支援センター主催のケア会議に参加して情報交換に努めている。 また、生活保護や権利擁護の利用者がいるため、普段から行政福祉課や地域包括支援センター、社会福祉協議会と連携して対応している。
		事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議には市の福祉課職員に参加していただけていますが、施設での相談事項がある時は担当課を訪ねたり連絡し合いサービスの質の向上に努めている。					
10	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用	運営者・管理者・職員は地域権利擁護事業や成年後見制度については必要性を理解しており、必要な場合にはアドバイス、活用、支援できるようにしている。					
		管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	運営者・管理者・職員は地域権利擁護事業や成年後見制度については必要性を理解しており、必要な場合にはアドバイス、活用、支援できるようにしている。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:しらかみ 下段:よねしろ)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	苦情受付第三者機関をもうけ虐待防止に努めている。					
			苦情受付第三者機関をもうけ虐待防止に努めている。					
4. 理念を実践するための体制								
	12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時や解約時は利用者や家族等に契約内容を再度説明し、不安点・疑問点を尋ね徹底して説明を行い、理解、納得を図っている。					
			契約時や解約時は利用者や家族等に契約内容を再度説明し、不安点・疑問点を尋ね徹底して説明を行い、理解、納得を図っている。					
	13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者が管理者や職員に意見・不満・苦情をいつでも言える環境作りに努めている。外部者の訪問は特に制限を設けていない為、オープンに話す事ができる。不満等が出たときには職員会議等で話し合いをしている。					
			利用者が管理者や職員に意見・不満・苦情をいつでも言える環境作りに努めている。外部者の訪問は特に制限を設けていない為、オープンに話す事ができる。不満等が出たときには職員会議等で話し合いをしている。					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の利用料金の請求時にケース担当ごとに近況報告の手紙を同封し健康状態をお知らせしている。買い物や要望があれば随時家族等に連絡し、個々にあわせた報告をしている。			面会が多いほか、毎月の利用料も原則として現金払いのため毎月訪問してもらい、利用者の生活状況を伝えている。 また、利用料の請求書送付と併せて、行事などの写真と利用者一人ひとりの状況報告を便りとして知らせている。	○	開設2年目にあたり広報の発行を検討しているため、実現して定期的な情報発信に努めてほしい。
			毎月の利用料金の請求時にケース担当ごとに近況報告の手紙を同封し健康状態をお知らせしている。買い物や要望があれば随時家族等に連絡し、個々にあわせた報告をしている。					
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置している。契約時に渡す重要事項説明書に苦情・相談について窓口を記載し説明し運営に反映させている。(施設内苦情担当、苦情受付第三者機関、公共機関)		今後は定期的に家族等へアンケートをお願いし意見を沢山取り入れより良い運営に反映させたい。	苦情相談窓口を明記し、玄関に意見箱を設置して意見や要望の把握に努めているが、今のところ苦情はない。 また、第三者機関を設置して家族からの直接の申し出にも配慮している。	○	事業所独自で意向調査を実施するなど、利用者及び家族の潜在的な思いや意向を把握するための取り組みを期待したい。 また、第三者機関の役割や機能を再確認し、「第三者」の観点から公平・中立性の確保に努めてほしい。
			玄関に意見箱を設置している。契約時に渡す重要事項説明書に苦情・相談について窓口を記載し説明し運営に反映させている。(施設内苦情担当、苦情受付第三者機関、公共機関)		今後は定期的に家族等へアンケートをお願いし意見を沢山取り入れより良い運営に反映させたい。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:しらかみ 下段:よねしろ）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月20日は正職員会議、月末前日には全体会議を開催し職員の意見や提案を聞き運営に反映させている。		毎日の朝、昼の申し送り会でも常に意見、提案を求めて即、行動に移し実行している。				
		毎月20日は正職員会議、月末前日には全体会議を開催し職員の意見や提案を聞き運営に反映させている。		毎日の朝、昼の申し送り会でも常に意見、提案を求めて即、行動に移し実行している。				
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	勤務表の作成にあたり、職員の希望等の話し合いを持ち、利用者の状況や行事に合わせて勤務の調整に努めている。						
		勤務表の作成にあたり、職員の希望等の話し合いを持ち、利用者の状況や行事に合わせて勤務の調整に努めている。						
9 18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入居者それぞれにケース担当をつけて職員への責任を持ってもらい目標を持った支援に努めている。離職者が出た場合は十分に引き継ぎを行い、利用者・家族に迷惑を掛けないようにしている。			○	職員の居室担当制を取り入れてケアにあたっては、職員はユニット間の分け隔てなく関わり、利用者の把握と関係構築に努めている。	特定の職員との信頼関係構築により、異動や退職時に利用者が不穏な状態になることを想定し、利用者の負担を軽減するための具体策の検討が望まれる。	
		入居者それぞれにケース担当をつけて職員への責任を持ってもらい目標を持った支援に努めている。離職者が出た場合は十分に引き継ぎを行い、利用者・家族に迷惑を掛けないようにしている。						
5. 人材の育成と支援								
10 19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員全員には研修や講習の案内を回覧等で案内し自主的に参加したい職員を積極的に機会を与え育成、トレーニングを進めている。			○	必要な研修情報を提供し、職員の希望等に応じて参加しており、内部研修も実施して職員の育成に取り組んでいる。 また、居室担当制により職員の責任感を養い、資格取得も促進するなど質の向上に前向きである。	職員一人ひとりの目標を設定し、その実現に向けた効率的な研修参加とするため、希望や職種、評価などに応じて研修計画を作成し、計画的かつ段階的にレベルアップできるよう組織としての研修参加体制の確立が望まれる。 また、日々のケアや評価などを通じて課題を明らかにし、それをテーマに勉強会を行うなど内部研修の充実を期待したい。	
		職員全員には研修や講習の案内を回覧等で案内し自主的に参加したい職員を積極的に機会を与え育成、トレーニングを進めている。						
11 20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の能代山本地区のグループホーム協会に入会し協会主催の会合には参加し交流をはかり意見交換をしている。また、他の施設を訪問しサービス向上に役立っている。			○	地区の連絡協議会に加入し、研修会などに参加して交流を図りながら情報収集に努めている。 また、協議会では事業所間の交流会も企画しており、今後の活動が期待される。	職員が同業者との情報交換や交流の機会を望んでいることから、協議会の中で提起するなど積極的な取り組みを期待したい。	
		地域の能代山本地区のグループホーム協会に入会し協会主催の会合には参加し交流をはかり意見交換をしている。また、他の施設を訪問しサービス向上に役立っている。						

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:しらかみ 下段:よねしろ)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	月1回開催の正職員会議で話し合われた内容を運営者（社長、専務）に会議実行者の事務長が内容、要望、意見を伝え運営者側で話し管理者、職員のストレスを軽減するための環境づくりに努めている。						
		月1回開催の正職員会議で話し合われた内容を運営者（社長、専務）に会議実行者の事務長が内容、要望、意見を伝え運営者側で話し管理者、職員のストレスを軽減するための環境づくりに努めている。						
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者は管理者、職員の個々の努力や実績、勤務状況を把握している。管理者、職員には向上心を持って働けるように研修、講習等への参加にも努めている。						
		運営者は管理者、職員の個々の努力や実績、勤務状況を把握している。管理者、職員には向上心を持って働けるように研修、講習等への参加にも努めている。						
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援								
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応								
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者の要望、また家族にも連絡を取り合いながら両サイドの要望を最大限に生かせるように職員皆で話し合いながら利用者との信頼関係を築くように努めている。						
		利用者の要望、また家族にも連絡を取り合いながら両サイドの要望を最大限に生かせるように職員皆で話し合いながら利用者との信頼関係を築くように努めている。						
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	近場の家族は来設する機会も多く報告や相談を受けながら話し合う時間を多く作っている。遠方の家族には電話、手紙、メールで連絡を取り合い随時受け付け体制をとるように努めている。						
		近場の家族は来設する機会も多く報告や相談を受けながら話し合う時間を多く作っている。遠方の家族には電話、手紙、メールで連絡を取り合い随時受け付け体制をとるように努めている。						
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時は多様なサービスがあることを本人、家族と他のサービス利用について話合うよう努めている。						
		相談を受けた時は多様なサービスがあることを本人、家族と他のサービス利用について話合うよう努めている。						

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:しらかみ 下段:よねしろ)			外部評価			
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>安心したサービスを利用してもらう為に入所前には本人もしくは家族にホームを必ず見ていただき重要事項説明書をもとに説明している。本人、家族等に納得していただいた上で入所していただき、職員が他の利用者との間に入り雰囲気徐々に馴染めるようまた、家族とも連絡を取りながら工夫している。</p> <p>安心したサービスを利用してもらう為に入所前には本人もしくは家族にホームを必ず見ていただき重要事項説明書をもとに説明している。本人、家族等に納得していただいた上で入所していただき、職員が他の利用者との間に入り雰囲気徐々に馴染めるようまた、家族とも連絡を取りながら工夫している。</p>				<p>事前に訪問して本人と丁寧に話し合い、事業所を訪問して雰囲気を体感してもらうなど、納得したうえで利用につなげている。</p> <p>また、職員の居室担当制を取り入れており、居室入り口に職員の写真を貼り、利用者及び家族が覚えやすいよう配慮している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援									
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者のできる役割を見つけ共に生活しているという立場を念頭に置き作業や制作活動、レク等の時間を共に過ごしている。会話を多くしお互いに誉めあい支えながら尊重しあう関係を築いている。</p> <p>職員は利用者のできる役割を見つけ共に生活しているという立場を念頭に置き作業や制作活動、レク等の時間を共に過ごしている。会話を多くしお互いに誉めあい支えながら尊重しあう関係を築いている。</p>				<p>居室担当制により顔馴染みの関係をつくり、利用者が職員を信頼している様子がかがえ、畑づくりなど利用者の経験を生かした関係性も築いている。</p> <p>また、利用者同士で入浴したり付き添い歩くなど、互いに支え合いながら生活することを支援している。</p>		
	28	<p>○本人と共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族等のホームへの訪問に制限は設けておらず、電話や手紙も自由に活用してもらうようにしている。近況報告は定期的に家族等に行きホームと共に利用者を支える関係を築いている。</p> <p>家族等のホームへの訪問に制限は設けておらず、電話や手紙も自由に活用してもらうようにしている。近況報告は定期的に家族等に行きホームと共に利用者を支える関係を築いている。</p>						
	29	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>電話や手紙の他にも利用料金のお支払い時はできるだけホームに来てもらい常に利用者や家族と連絡を取り合いより良い関係を築けるように支援している。</p> <p>電話や手紙の他にも利用料金のお支払い時はできるだけホームに来てもらい常に利用者や家族と連絡を取り合いより良い関係を築けるように支援している。</p>						
	30	<p>○馴染みの人や場所との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>利用者の信頼している医師に受診しており大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている。また友人への連絡や家族の人が馴染みの場へと連れて行くような関係に努めている。</p> <p>利用者の信頼している医師に受診しており大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている。また友人への連絡や家族の人が馴染みの場へと連れて行くような関係に努めている。</p>						

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:しらかみ 下段:よねしろ）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
	31	○利用者同士の関係の支援	運営者、管理者、職員は利用者同士の関係を把握しており個々が孤立せず利用者同士が関わりをもち、職員が中に入ったりしながら関わりを保ち支え合うよう努めている。					
		利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	運営者、管理者、職員は利用者同士の関係を把握しており個々が孤立せず利用者同士が関わりをもち、職員が中に入ったりしながら関わりを保ち支え合うよう努めている。					
	32	○関係を断ち切らない取り組み	サービス利用が終了しても介護相談に応じており、また手紙などいただいたり、家族の方が来設してくれたりとの交流を継続し関係を断ち切らないようにしている。		退居後には職員等に贈り物をいただいたり、ホームでの写真を差し上げたり交流を続けている。			
		サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用が終了しても介護相談に応じており、また手紙などいただいたり、家族の方が来設してくれたりとの交流を継続し関係を断ち切らないようにしている。		退居後には職員等に贈り物をいただいたり、ホームでの写真を差し上げたり交流を続けている。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント								
1. 一人ひとりの把握								
14	33	○思いや意向の把握	入居前の生活リズムを事前調査や家族との打ち合わせ等で把握し、集団生活の中で本人本位になるようにサービスの提供に努めている。			利用者からの要望が少ないとのことだが、独自のアセスメント様式を使って利用者及び家族から情報収集を行い、居室担当制により職員が思いや意向の把握に努めている。	○	開設1年で職員が一生懸命ケアするあまり、結果的に利用者の自立心を低下させる恐れがあるため、余裕を持った対応を心がけ、様々な場面で利用者の思いを感じ取れるよう職員間で検討のうえ共通認識を図ることが望まれる。
		一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居前の生活リズムを事前調査や家族との打ち合わせ等で把握し、集団生活の中で本人本位になるようにサービスの提供に努めている。					
	34	○これまでの暮らしの把握	これまでの暮らしの把握については本人や家族から生活環境や生きがいなど把握している。また、これまでのサービス利用の経過等にも把握に努めている。					
		一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らしの把握については本人や家族から生活環境や生きがいなど把握している。また、これまでのサービス利用の経過等にも把握に努めている。					
	35	○暮らしの現状の把握	暮らしの現状把握は介護サービスをしていくうえで一番に大切で必要なことなので総合的に把握するように努めている。					
		一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	暮らしの現状把握は介護サービスをしていくうえで一番に大切で必要なことなので総合的に把握するように努めている。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:しらかみ 下段:よねしろ)			外部評価			
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し									
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者本人、家族等から現状を聞き利用者本人、家族、管理者、職員と話し合い最終的に運営者、管理者、職員でケア会議を開きそれぞれのアイデアを反映した介護計画を作成している。				担当職員が責任を持って状態観察を行い、日々の情報や生活状況、家族の意向を踏まえてアセスメントしており、定期的に行っているケアカンファレンスで意見交換のうえ介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は3ヶ月に1回は短期計画を見直しを行い、6ヶ月に1回は長期計画を中心に正職員会議にてケア会議を開催している。また、本人、家族と話し合い新たなニーズが出た時や介護度が変わった時など、現状に即した新たな計画を作成している。				毎月のモニタリングを実施し、計画目標に準じて3か月または6か月で計画を見直している。また、担当職員の気づきや状態変化がみられる場合は、随時に見直している。	○	利用者に関する記録等が各ファイルに分かれていることから、利用者一人ひとりの一連の状態を一目で把握できるよう、個人毎のファイルとして整理するなどの工夫が望まれる。
	38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者個別の日々の様子やケアの実践・結果は個々に介護記録として記入している。これら情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。						
3. 多機能性を活かした柔軟な支援									
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	状況変化に伴い、通院等必要な場合は柔軟に対応している。また隣の棟との交流も大切に2ユニットの機能性を活かしている。また、長広い2ユニット独自の廊下を活かし歩行訓練等を行っている。行事やホーム内散歩で交互にユニット交流を深めている。				事業所内での簡易的な歩行訓練や通院介助など、可能な範囲での柔軟な対応に努めている。また、系列福祉施設から調理に関する助言を得たり、音楽療法士を紹介してもらうなど効果的な事業運営に向けて連携を図っている。		

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:しらかみ 下段:よねしろ)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働								
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関、医療機関等と協力しながら支援している	地域の消防署に来てもらい消防訓練をしてもらっている。	○	今後、救命救急講習の受講も行いたい。				
		地域の消防署に来てもらい消防訓練をもらっている。	○	今後、救命救急講習の受講も行いたい。				
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意向や必要性に応じて、他の介護施設等と連絡を取りながら本人、家族に相談に応じ他のサービス情報の提供に努めている。						
		本人の意向や必要性に応じて、他の介護施設等と連絡を取りながら本人、家族に相談に応じ他のサービス情報の提供に努めている。						
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	ホームとして必要性に応じて知識の確認や準備はできているが包括支援センターと共同して行う権利擁護等の活用事例は発生していない。						
		ホームとして必要性に応じて知識の確認や準備はできているが包括支援センターと共同して行う権利擁護等の活用事例は発生していない。						
18 43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医、歯医者、薬局とホームの関係は十分良好であり利用者、家族に納得してもらい適切な医療を受けられるように支援している。			かかりつけ医が協力医であり、月2回の往診や他科への通院支援のほか、必要に応じた歯科往診などにより利用者の健康状態を把握している。また、緊急時には協力医と随時連絡をとるなど、医療との連携体制を確保している。			
		かかりつけ医、歯医者、薬局とホームの関係は十分良好であり利用者、家族に納得してもらい適切な医療を受けられるように支援している。						
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	ホーム、利用者と主治医の関係も良好で職員の相談にも応じていただき認知症に関する診断や治療を受けられるように努めている。						
		ホーム、利用者と主治医の関係も良好で職員の相談にも応じていただき認知症に関する診断や治療を受けられるように努めている。						
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	月2回の主治医による往診をしてもらっている際にも看護師等に気軽に健康管理の相談や指導を受け医療活用の支援に努めている。						
		月2回の主治医による往診をもらっている際にも看護師等に気軽に健康管理の相談や指導を受け医療活用の支援に努めている。						

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:しらかみ 下段:よねしろ)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院した場合は病院関係者及び家族と連絡を密にし情報交換、相談に応じ安心して治療できるよう努めている。						
		利用者が入院した場合は病院関係者及び家族と連絡を密にし情報交換、相談に応じ安心して治療できるよう努めている。						
19 47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末介護のあり方について本人、家族やかかりつけ医と繰り返し話し合い共に納得し理解行っている。週末介護内部研修を実施している。平成21年1月には終末介護経験。			家族と主治医の要望により看取り介護を経験したことがあり、終末期ケアの必要性の認識とともに職員の自信にもつながっている。 また、系列福祉施設の協力もあり、手順や必要な手続きなど情報を得ながら研修等で共通認識を図っている。	○	系列福祉施設の協力を得ながら準備を進めている途中のため、書類関係の整備や職員のメンタル面のケアなど、組織としての体制づくりに努めてほしい。	
		終末介護のあり方について本人、家族やかかりつけ医と繰り返し話し合い共に納得し理解行っている。週末介護内部研修を実施している。						
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ホームでの介護上、できる・できないの見極めは大切に家族、主治医と密に連携を取りながら確認し合い、変化に対応できるよう準備を行っている。						
		ホームでの介護上、できる・できないの見極めは大切に家族、主治医と密に連携を取りながら確認し合い、変化に対応できるよう準備を行っている。						
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、本人及び家族に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	利用者が別の居所へ移り住む際には、利用者、家族、関係ケア担当者で十分に話し合い、情報交換を行い支援するように努めている。						
		利用者が別の居所へ移り住む際には、利用者、家族、関係ケア担当者で十分に話し合い、情報交換を行い支援するように努めている。						
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援								
1. その人らしい暮らしの支援								
(1) 一人ひとりの尊重								
20 50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることのないよう言葉かけや行動を徹底し、記録等の個人情報のプライバシーの確保、記録の言葉使いは徹底している。			書類管理はパソコンに記録入力し、ケースファイル等はロッカーに保管管理しているほか、個人情報の取り扱いについては同意書を得ている。 また、居室入口の扉がガラス窓のため、利用者の要望に応じてのれんを設置するなど、プライバシーの確保に努めている。	○	開設1年目で職員が日々のケアに一生懸命であり、頑張り過ぎることで逆にみえていない部分があるため、職員間で改めて利用者の尊厳について確認し合い、日々のケアを見直しながらサービスの向上につなげてほしい。	
		利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることのないよう言葉かけや行動を徹底し、記録等の個人情報のプライバシーの確保、記録の言葉使いは徹底している。						

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:しらかみ 下段:よねしろ)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を「尊厳の保持」に配慮して行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者が本人らしい思いや希望を表せるように尊重し、共同生活の中で納得しながら暮らせるよう支援している。 利用者が本人らしい思いや希望を表せるように尊重し、共同生活の中で納得しながら暮らせるよう支援している。					
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者1人ひとりのペースを大切に好きな役割や希望した役割を無理強いせず一日一日を有意義に過ごしてもらうよう支援している。 利用者1人ひとりのペースを大切に好きな役割や希望した役割を無理強いせず一日一日を有意義に過ごしてもらうよう支援している。			「家族と生活している」という安心感を与えられるよう親身になって支援しているが、職員が一生懸命ケアすることで返って利用者の自立心を低下させている場面がみられる。	○	ケアに一生懸命なあまり利用者の生活リズムやペースを十分に把握しきれていないため、職員が何でも行うのではなく、利用者のできることで、できそうなことを見極めながら、利用者の自立心を向上させるような役割を見出すなど、今後の働きかけを期待したい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援								
	53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	出張理容店と契約しており本人と家族の希望で行うことができ、また本人の望む店にも家族等の了解を得、希望に沿うよう支援している。 出張理容店と契約しており本人と家族の希望で行うことができ、また本人の望む店にも家族等の了解を得、希望に沿うよう支援している。					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者のできる範囲内で職員と一緒に役割分担をし調理や準備、片付けをしている。 利用者のできる範囲内で職員と一緒に役割分担をし調理や準備、片付けをしている。			職員が毎週献立を立て、月曜日は炒飯、水曜日は麺類、金曜日はカレーと曜日を設定することにより曜日感覚を意識できるよう工夫している。 また、利用者には山菜の皮むきなど食事の下ごしらえに協力してもらい、食器も使い慣れた物を持参して使用するなど食事への関心を深めてもらうよう配慮している。	○	運営推進会議で提案された選択食については実施に向けて取り組みを進めているため、今後は外食の機会を設けるなど食事を楽しめる雰囲気や場面づくりに努めてほしい。
	55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人が望む食事やおやつ等、好みの物は利用者の体調や状況に合わせて提供、管理し、日常的に楽しめるよう支援している。 本人が望む食事やおやつ等、好みの物は利用者の体調や状況に合わせて提供、管理し、日常的に楽しめるよう支援している。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:しらかみ 下段:よねしろ)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう「尊厳の保持」に配慮して支援している	できる限りおむつ使用を避けているが、必要な場合は尊厳を傷つけずにトイレ誘導を促し、排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。						
		できる限りおむつ使用を避けているが、必要な場合は尊厳を傷つけずにトイレ誘導を促し、排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。						
23 57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の体調や要望にあわせ、基本週3回のペースで入浴を楽しめるよう支援している。			週3回の入浴を基本としているが、利用者の希望に応じて毎日の入浴も可能で、夏場や排泄失敗時などはシャワー等で柔軟に対応している。 また、入浴時は同性介助で支援しており、仲の良い利用者同士と一緒に入浴するなど入浴を楽しめるよう配慮している。			
		利用者の体調や要望にあわせ、基本週3回のペースで入浴を楽しめるよう支援している。						
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者1人ひとりの生活習慣や日々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるように、かかりつけ医とも相談しながら支援している。						
		利用者1人ひとりの生活習慣や日々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるように、かかりつけ医とも相談しながら支援している。						
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援								
24 59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者ができる範囲内で役割を持っていただき、生活歴や経験を活かせるよう、気晴らし、楽しみごとの支援をしている。			食事の手伝いやおしぼりたたみなど、利用者の限られた範囲で役割を担っており、畑づくりや体操など生活の中で気晴らしにつながることを取り入れている。	○	職員が一生懸命ケアするあまり、利用者のできることを制限している傾向があるため、利用者のできそうなことを見出し、できる限り行ってもらうなど、利用者の自立心を向上させるための支援を期待したい。	
		利用者ができる範囲内で役割を持っていただき、生活歴や経験を活かせるよう、気晴らし、楽しみごとの支援をしている。						
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者がお金を持つ事の大切さは職員は理解しており、個々の預かり金は事務所で適切に保管し、希望時は職員同伴で買い物の機会を与え支援している。						
		利用者がお金を持つ事の大切さは職員は理解しており、個々の預かり金は事務所で適切に保管し、希望時は職員同伴で買い物の機会を与え支援している。						

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:しらかみ 下段:よねしろ)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	61	○日常的な外出支援	その日の天候や本人の体調等にもよるが散歩やドライブ、買い物等に誘い、戸外に出かけられるよう支援している。			天候や利用者の体調に合わせて散歩に出かけており、帰宅願望の訴えが強い方には気分転換を図るうえで有効的になっている。 また、買い物や行事などの外出については、事業所専用の車輛を使用している。	○	全体的に外出する機会が少ないため、季節毎や利用者の状態、意向に応じての外出を工夫してほしい。
		事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の天候や本人の体調等にもよるが散歩やドライブ、買い物等に誘い、戸外に出かけられるよう支援している。					
	62	○普段行けない場所への外出支援	年間行事にて花見や紅葉ドライブ、お祭り、運動会、等々を開催しており普段いけない場所への気分転換の一環として支援している。また、家族と共に出かける機会づくりも支援している。					
		一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年間行事にて花見や紅葉ドライブ、お祭り、運動会、等々を開催しており普段いけない場所への気分転換の一環として支援している。また、家族と共に出かける機会づくりも支援している。					
	63	○電話や手紙の支援	家族等からの電話の取次ぎや利用者が電話をしたいと要望した時は支援している。手紙は家族や利用者の友達からも来ることが多いが、利用者が希望したときは手紙を書くように支援したり書けない場合は職員が代筆し支援するようにしている。					
		家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族等からの電話の取次ぎや利用者が電話をしたいと要望した時は支援している。手紙は家族や利用者の友達からも来ることが多いが、利用者が希望したときは手紙を書くように支援したり書けない場合は職員が代筆し支援するようにしている。					
	64	○家族や馴染みの人の訪問支援	家族、知人、友人等本人の馴染みの人たちがいつでも気軽に訪問でき、訪問していただいた際は居室やホール等で和んでもらいお茶やお菓子を提供し心地よく過ごしてもらうようにしている。					
		家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族、知人、友人等本人の馴染みの人たちがいつでも気軽に訪問でき、訪問していただいた際は居室やホール等で和んでもらいお茶やお菓子を提供し心地よく過ごしてもらうようにしている。					
(4) 安心と安全を支える支援								
	65	○身体拘束をしないケアの実践	身体拘束は行う必要なく、拘束しないケアに取り組んでいる。	○	「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」の再確認			
		運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行う必要なく、拘束しないケアに取り組んでいる。	○	「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」の再確認			

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:しらかみ 下段:よねしろ）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取り組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
26	66	○鍵をかけないケアの実践	家族や地域の人々の自由な訪問や、利用者同士の自由な居室の行き来を自由にしており、鍵をかける事での心理的不安・閉塞感や家族、地域の人々にもたらす印象などデメリットを認識理解しているので鍵をかけないケアに努めている。			玄関や非常口は常に鍵をかけずに開放しており、帰宅願望のある方には職員が見守りながら随時対応している。 また、利用者の顔写真や連絡先、病院名などを記載したファイルを準備して緊急時に備えている。	○	ファイルを活用して近隣住民や警察、消防等の関係機関に利用者の情報を伝え、地域全体で利用者を見守り、支える仕組みづくりを期待したい。
		運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	家族や地域の人々の自由な訪問や、利用者同士の自由な居室の行き来を自由にしており、鍵をかける事での心理的不安・閉塞感や家族、地域の人々にもたらす印象などデメリットを認識理解しているので鍵をかけないケアに努めている。					
	67	○利用者の安全確認	職員は利用者のプライバシーに配慮しながら日中は常に様子を見て把握し安全に配慮している。夜間は巡視やトイレ誘導を行い利用者の安全確保に努めている。					
		職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は利用者のプライバシーに配慮しながら日中は常に様子を見て把握し安全に配慮している。夜間は巡視やトイレ誘導を行い利用者の安全確保に努めている。					
	68	○注意の必要な物品の保管・管理	薬やカッター、はさみ等の金属類はホームで管理している。台所の包丁類も職員が台所を離れる夜勤時等は事務所内で保管し安全を確保し危険を防ぐよう努めている。					
		注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬やカッター、はさみ等の金属類はホームで管理している。台所の包丁類も職員が台所を離れる夜勤時等は事務所内で保管し安全を確保し危険を防ぐよう努めている。					
	69	○事故防止のための取り組み	防災訓練等を行こなっている。また、ヒヤリハットを活用してミーティングを行い事故防止に取り組んでいる。					
		転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	防災訓練等を行こなっている。また、ヒヤリハットを活用してミーティングを行い事故防止に取り組んでいる。					
	70	○急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備え、緊急連絡網や救急車の要請手順を作成し全職員が認識し急変や事故発生時に備えている。また救急車要請マニュアルを作成し備えている。					
		利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行っている	利用者の急変や事故発生時に備え、緊急連絡網や救急車の要請手順を作成し全職員が認識し急変や事故発生時に備えている。また救急車要請マニュアルを作成し備えている。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:しらかみ 下段:よねしろ)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時等の避難訓練を実施し避難場所は事業所の駐車場を活用し、地域の避難場所を活用できるように地域住民の一員として協力を得られるように努めている。			電磁調理器や冷暖房設備など火気を使用しない設備としており、全室に火災感知器を設置している。 また、年1回消防署の指導により避難訓練を行い、その様子を撮影したビデオ記録を活用して職員間で研鑽を重ね、共通認識を図っている。	○	災害時における近隣住民の協力体制の構築を検討していることから、訓練への参加を呼びかけ、それぞれの役割なども明確にしてほしい。 また、夜間を想定した実践的な訓練の実施や非常時の備蓄や設備面でも見直し、利用者の安心・安全の確保に努めてほしい。
			災害時等の避難訓練を実施し避難場所は事業所の駐車場を活用し、地域の避難場所を活用できるように地域住民の一員として協力を得られるように努めている。					
	72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	利用者一人ひとりに起こりうるリスクについて入居当初や訪問時、電話等で家族に説明し対応策について話し合い支援している。					
			利用者一人ひとりに起こりうるリスクについて入居当初や訪問時、電話等で家族に説明し対応策について話し合い支援している。					
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援								
	73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝定期的にバイタルチェックを行い、利用者一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いたことは情報を共有し、対応に結び付けている。					
			毎朝定期的にバイタルチェックを行い、利用者一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いたことは情報を共有し、対応に結び付けている。					
	74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全職員は利用者一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法・用量について医師の説明や薬局の説明書により理解に努め、活用や服用の支援と症状の変化の確認に努めている。					
			全職員は利用者一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法・用量について医師の説明や薬局の説明書により理解に努め、活用や服用の支援と症状の変化の確認に努めている。					
	75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	利用者の便秘原因や及ぼす影響を理解し予防の為、食事の工夫、水分補給、散歩、歩行訓練など体を動かす働きかけに取り組んでいる。					
			利用者の便秘原因や及ぼす影響を理解し予防の為、食事の工夫、水分補給、散歩、歩行訓練など体を動かす働きかけに取り組んでいる。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:しらかみ 下段:よねしろ）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
76	○口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。また、食事前もうがいをしてから食事するという流れにし支援している。					
			毎食後一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。また、食事前もうがいをしてから食事するという流れにし支援している。					
28 77	○栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一週を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの食べる量や栄養バランスを考慮し1日1,500キロカロリーを目標に献立している。個人別に水分摂取量も記録し把握している。また利用者の状態に応じてお粥やきざみ食にする等の支援をしている。			1日1,500キロカロリーを目安に職員が献立作成し、毎食の食事摂取量や水分補給量のほか、排泄状況も確認して状態観察に努められている。	○	系列福祉施設の栄養士などから定期的にチェックしてもらい、利用者の栄養バランスに偏りがないうかが指導・助言を得ながら根拠ある栄養管理に努めてほしい。
			利用者一人ひとりの食べる量や栄養バランスを考慮し1日1,500キロカロリーを目標に献立している。個人別に水分摂取量も記録し把握している。また利用者の状態に応じてお粥やきざみ食にする等の支援をしている。					
78	○感染症予防	感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	インフルエンザ予防接種については家族の了解の下、利用者全員接種している。また感染症を防ぐため塩素系水（ハイター）を薄めた水で床、手すり、トイレ、風呂、台所等の衛生に努めている。加湿器も弱酸性次亜塩素酸水を使用しており空気感染予防、湿度等にも気をつけるようにしている。					
			インフルエンザ予防接種については家族の了解の下、利用者全員接種している。また感染症を防ぐため塩素系水（ハイター）を薄めた水で床、手すり、トイレ、風呂、台所等の衛生に努めている。加湿器も弱酸性次亜塩素酸水を使用しており空気感染予防、湿度等にも気をつけるようにしている。					
79	○食材の管理	食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒の予防の為、台所、調理用具等の消毒、衛生管理を行い、食材は日々の買い物により新鮮で安全な食材を使用し、賞味期限等に注意しながら使用と管理に努めている。					
			食中毒の予防の為、台所、調理用具等の消毒、衛生管理を行い、食材は日々の買い物により新鮮で安全な食材を使用し、賞味期限等に注意しながら使用と管理に努めている。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:しらかみ 下段:よねしろ)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり								
(1)居心地のよい環境づくり								
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫	利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく安心して出入りができるように玄関や建物周囲の清掃、美化、美観に努めている。また、花壇や畑を整備する事により緑や木々が雰囲気や和みになり、外部の人々が訪問しやすい環境作りにも努めている。						
		利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく安心して出入りができるように玄関や建物周囲の清掃、美化、美観に努めている。また、花壇や畑を整備する事により緑や木々が雰囲気や和みになり、外部の人々が訪問しやすい環境作りにも努めている。						
29 81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は毎日掃除や消毒をし清潔に保ち、利用者にとって不快な音や臭いや光がないよう配慮し、季節ごとにその時にあった飾りをし季節感を取り入れ居心地よく暮らせるよう努めている。					○	畳を敷いて利用者が横になれるスペースを確保するなど、共有空間を有効的に活用した空間づくりを期待したい。
		共用の空間は毎日掃除や消毒をし清潔に保ち、利用者にとって不快な音や臭いや光がないよう配慮し、季節ごとにその時にあった飾りをし季節感を取り入れ居心地よく暮らせるよう努めている。						
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の中には利用者同士が思い思いに過ごせるようにソファを配置しており、テーブル、椅子等も利用していただき、思い思いの事を気軽に明るくできるように努めている。						
		共用空間の中には利用者同士が思い思いに過ごせるようにソファを配置しており、テーブル、椅子等も利用していただき、思い思いの事を気軽に明るくできるように努めている。						
30 83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族等が訪問した場合でも居室で語り合うことができる空間作りをしている。利用者や家族が使い慣れたもの等を活かして過ごしてもらっている利用者もいる。本人の要望でベット就寝だけでなく臨機応変に過ごしやすいよう努めている。						ベットとチェストは事業所で準備しており、利用者がそれぞれ自由に配置している。 なお、利用者の家具等の持ち込みは少ないが、仏壇や家族の写真、作品などを自由に飾り個性ある空間づくりを支援している。
		家族等が訪問した場合でも居室で語り合うことができる空間作りをしている。利用者や家族が使い慣れたもの等を活かして過ごしてもらっている利用者もいる。本人の要望でベット就寝だけでなく臨機応変に過ごしやすいよう努めている。						

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:しらかみ 下段:よねしろ)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のとどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	各居室には換気扇を付けており気になる臭いや空気のとどみがないように努めている。リネン交換時や入浴時等にも空気の入替えを行いきれいな環境作りに努めている。温度調整は利用者の状況に応じてこまめに行っている。					
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり								
	85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した歩行や生活が送れるように工夫している	建物内部はバリアフリーとなっており、廊下、風呂、トイレ等には手すりを付け利用者一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した歩行や生活が送れるように工夫している。					
	86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室前には氏名とケース担当の顔写真を表示しており混乱や失敗を減少させるように努め声掛けや見守りしながら自立して暮らせるように工夫している。					
	87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の外周り散歩や畑での作業、玄関前の芝生で椅子に座りくつろいだりし、様々な活動ができるように活かしている。					

※ は、重点項目。

項目		自己評価	
		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと) ①：1ユニット(しらかみ) ②：2ユニット(よねしろ)	
V. サービスの成果に関する項目		①	②
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	○
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	○
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	○
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	○
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	○
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	○
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	○
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	○
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	○
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	○
98	職員は、生き活きと働いている	○	○
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	○
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	○

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

グループホーム和みは入居者が少しでも家庭的な雰囲気の中で生活できるように各々の入所前の生活状態を把握し、畑作り、草取り、居室の掃除、食器拭き、野菜の下ごしらえ、リネン交換等無理のない程度での環境作りをしている。
 また、趣味の分野では俳句、習字、折り紙、編み物等自由に組み立てるよう状況作りに取り組んでいる。

グループホーム和みは入居者が少しでも家庭的な雰囲気の中で生活できるように各々の入所前の生活状態を把握し、畑作り、草取り、居室の掃除、食器拭き、野菜の下ごしらえ、リネン交換等無理のない程度での環境作りをしている。
 また、趣味の分野では俳句、習字、折り紙、編み物等自由に組み立てるよう状況作りに取り組んでいる。